

大阪城

2022
10/20
(木)
14301
号

全港湾
西成区
八幡

2nd
6647-
4947

秋晴れが続きそうだが、すこしやす、気候
だがいつまでも緑がなくて、冬がまっついている。

オミクロンウイルスの新しい派生型が米、EU、ヨー
ロッパで拡大しているという。旅行のインパクト
でもうけようと、外国人の受け入れを自由にして
いるので「BA.46」「BQ.1」など米欧でふえ
ている変異したウイルスが冬のインフルエンザ、
カゼの流行と合流して日本でも拡大するとい
心配されている。第7波が終わったと、ほとん
武装解除しているの、第8波がどうなるか？
医療、医療、政治が責任をしっかりと自覚して
行動していかないと大変なことになるように
見える。

国会は12/10までだが、中国は覚えたんが10/23に終
わる。アメリカはあと2週間ほどで、11/8中回

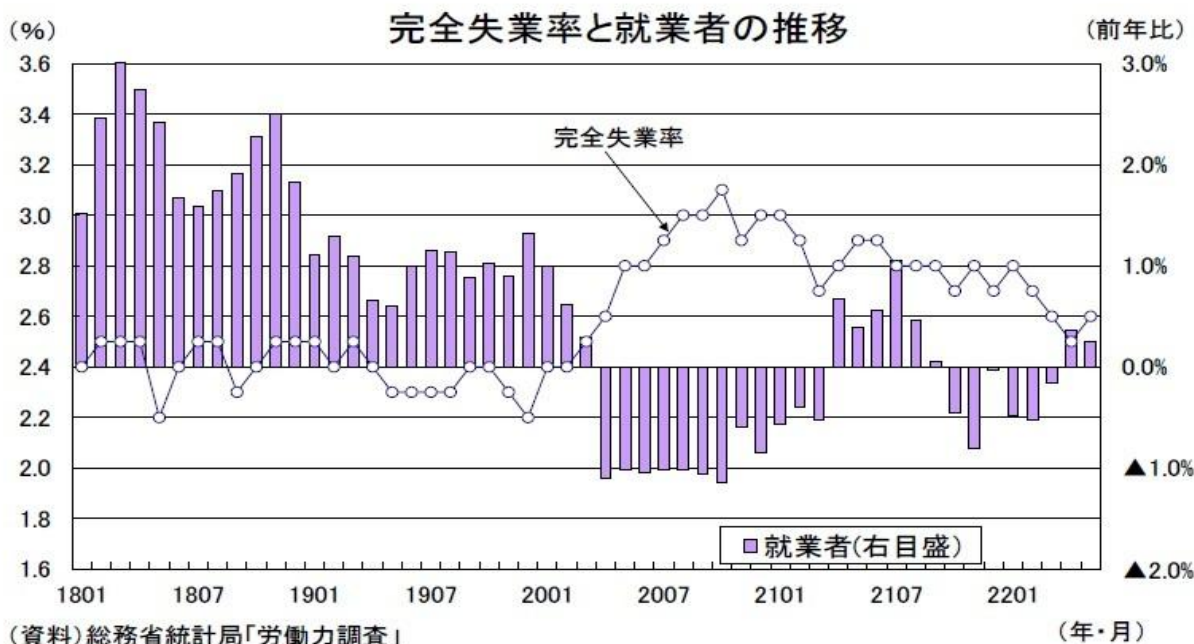
選考までいろいろ多相をいれているが、新しい情
勢が生れてくるのだらう。今や地球の動きの
大局を決めてきているロシア、ウクライナ戦争だ
が、雪の厳冬期に突入する。燃料、食料などが
値上げ、インフレが世界をおそってくる。新しい
年は、今の秋晴れのようにはいかないように見える。

【完全失業率と完全失業者数・2022年の最新版】 ※2022年10月1日時点の最新情報
 総務省が発表した2022年8月の最新版「完全失業率」は2.5%（前月：2.6%）。前月から0.1%下がりました。2020年の平均値と同程度で、大きくは変わっていない状況です。また、直近3か月で大きな変化はなく、0.1%程度の変化となっています。雇用状況は急激な変化がなくなり落ち着きを見せている状況になっています。

新型コロナウイルスまん延による景気悪化の影響は受けていますが、経済活動の再開も始まっており、少しずつ落ち着きを取り戻してきている状況と言えます。しかし、ウクライナ情勢の影響を受け各方面で原材料高騰の影響を受けており、今後更なる景気悪化が懸念されています。

【完全失業者数・最新版】（季節調整値）

こちらも総務省が発表している2022年8月の最新版「完全失業者数」177万人。前年同月に比べ17万人の減少しており、完全失業者数の視点で見ると、緩やかに回復傾向が見られます。



総務省の調査で8月時点ではコロナもおさまりつつあり雇用情勢は回復基調のようでしたが、10月半ばの現在、急激な円安・物価高インフレだけでなく世界的な景気後退・恐慌がささやかれ、コロナ第8波の兆しもあるので先行き不透明感がおおきくなっているようです。